

過去に放射線医学総合研究所で線量評価の研究に参加し採血をされた方へ

放射線医学総合研究所（以下、放医研）では、過去に、放射線事故に際して迅速に被ばく線量を推定する技術を開発するために、成人ボランティアの皆様から血液を採取させていただき、実験的に放射線照射をして線量効果関係を調べました。この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、過去に血液試料を提供くださった皆様お一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] ヒト末梢血を用いた生物学的線量評価法の開発研究（実施期間：2018年10月15日～2026年3月31日）

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 計測・線量評価部

[研究責任者] 数藤由美子

[共同研究機関] 北海道大学大学院情報科学研究科（個人を識別できる情報が提供されることはありません）

[研究の目的] 末梢血に放射線照射を行って観察される染色体異常を指標として線量推定法を開発します。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

以下の研究のいずれかに協力した方：

- 1) ヒト末梢血リンパ球及び皮膚組織細胞を用いた生物学的線量評価法の開発に関する研究（旧・放医研 研究計画書05-002、研究実施期間2008年4月1日～2011年3月31日）
- 2) リンパ球染色体異常を指標とした中性子線のバイオドシメトリーに関する基礎的研究（同 研究計画書10-015、研究実施期間2011年1月12日～2011年3月31日）
- 3) 末梢血のリンパ球染色体とDNAの変異を指標とした放射線のバイオドシメトリーに関する基礎研究（同 研究計画書11-011、研究実施期間2011年10月11日～2016年3月31日）
- 4) 1970年以降、放医研・生物線量評価研究室で行われた染色体検査

●利用する情報及び利用方法

既存の保管試料およびデータを利用させていただきます。新たな質問や血液採取はありません。

[個人情報の取り扱い] 本研究で得られた研究対象者のデータは、本研究の目的以外には利用しません。本研究結果の公表においては、匿名化（特定の個人を識別することができない）された解析結果のみを公表します。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2020年3月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

Eメール chromosome@qst.go.jp

